

京都市・山本文二郎
漆科学研究助成事業
ご案内

マイケルソン顕微干渉計による漆塗膜表面像

漆科学

URUSHI SCIENCE

助成対象

- (1)漆科学研究
- (2)漆科学研究者の育成
- (3)漆科学研究成果普及

漆を科学する会

京都市・山本文二郎漆科学研究助成事業委員会事務局

山本文二郎漆科学研究基金の設立

大阪市の漆用顔料メーカー(株)山本化学製品所前社長, 故山本文二郎氏は漆の合成, 酵素ラッカーゼなど漆の科学研究に長年多大な力を注いでこられました。

平成3年10月に文二郎氏が逝去された後, 遺族より漆に関して科学研究実績のある京都市に対して, 氏の生前の希望でもあり漆科学への情熱を後世に残すため, 漆の科学研究に役立てて欲しいと遺産の一部の寄付の申し出がありました。

京都市は寄付者の意向に添って寄付金を山本文二郎漆科学研究基金とし, その運用益を漆の科学研究の振興に活用, 漆科学を基礎に漆関連業界の基盤を整備すると共に新しい産業分野への展開を積極的に進めてまいりました。

平成26年4月, 京都市から(地独)京都市産業技術研究所へ基金が移管され, さらにその目的を効果的に進めていくこととなりました。



故 山本文二郎氏

漆科学研究と漆科学研究助成事業について

漆はjapanと言われる程に日本を象徴する素材であり5千年もの歴史があります。縄文時代以来そこに蓄積されたノウハウ(匠達の技術)や奥深い魅力, また, 膜の美しさなどの天然素材としての漆のおもしろさ(特長)を科学的に解明していくことによって, 新しい可能性を追求したいと考えています。近年各方面で漆膜の美しさや素材としての特長に着目し, すでにインテリア製品, 家電等に利用されており, この方面からも工業材料として漆が見直されはじめ, 漆を科学的に明らかにすることが重要となってきています。

漆の美しさ, 超耐久性, 理想的な膜の構造, 酵素反応による硬化等の特長を科学的に究明し, 次代に向けての新素材開発の基盤としていくことが重要と考えます。このため(地独)京都市産業技術研究所として漆科学研究事業を起し, 漆科学研究のより一層の充実を図ると共に全国の漆科学研究者に対し, 漆科学研究助成事業を実施し, わが国に数少ない研究者の力を集め, 漆科学研究の発展及び新たな展開を図っていくこととなりました。

皆様のご協力をお願いし, ここにご案内申し上げます。

京都市・山本文二郎漆科学研究助成事業

1. 目的

長い歴史の中で蓄積された匠達の技術や奥深い魅力、膜の美しさなど、漆はわが国を代表する天然素材であり、その特長を科学的に解明することによって、漆の持つ新しい可能性を追求することが今日的な課題と考えます。漆の科学的研究を一層進めるため、全国の漆科学研究者に対する研究助成を行い、わが国に数少ない研究者の力を集め、漆科学の発展及び新たな展開を図っていきます。

2. 事業の内容

漆を科学する会の特別事業として、(地独)京都市産業技術研究所より山本文二郎漆科学研究基金運用益の補助を受け、全国の漆科学研究者に対して漆科学に関する研究の発展のため研究費等の一部または全額を助成します。

助成のための審査及び事務は、漆を科学する会会則第12項に基づき、京都市・山本文二郎漆科学研究助成事業委員会(以下、助成事業委員会)が行います。

3. 助成の対象となる研究

助成対象の研究は毎年募集し、応募の中から以下の内容に合致したものに対して、各年度毎に1～数件程度選定し、その研究に関わる費用の一部または全額を助成します。

(1) 漆科学研究

① 基礎または応用的研究に対する助成	1件100万円以内
② 実用化研究に対する助成	1件100万円以内

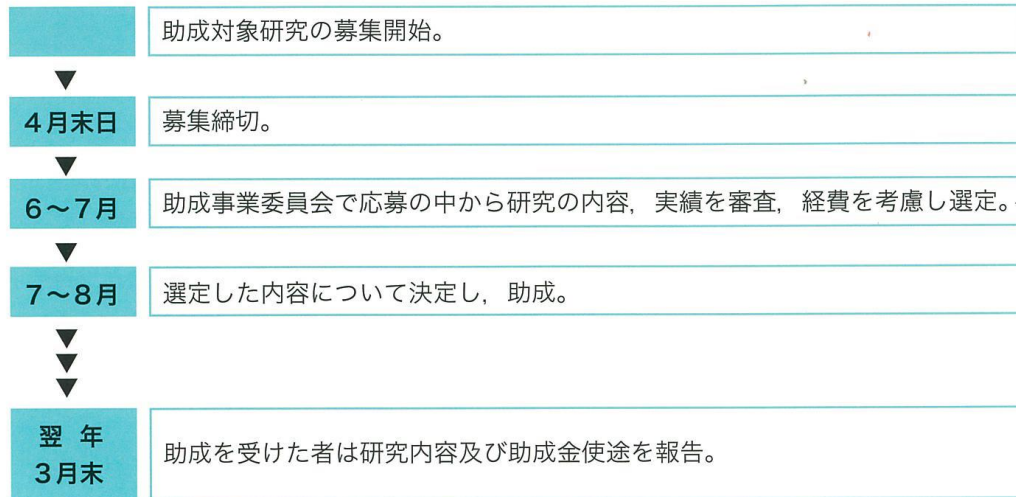
(2) 漆科学研究者の育成

① 海外からの留学生に対する助成	1件 50万円以内
② 研究者の海外研修に対する助成	1件 50万円以内
③ 研究者の国内留学及び国内研修に対する助成	1件 50万円以内

(3) 漆科学研究成果普及

① 漆科学に関する出版物等に対する助成	1件 50万円以内
---------------------	-----------

4. 助成対象研究の選定手順



5. 助成事業委員会委員

「漆を科学する会」会則第12項に基づく。

選考方法 助成事業委員会で選考審査の上決定。

委員長 大藪 泰

(前京都市産業技術研究所研究室長・漆を科学する会会長)

委員 岡田 文男 (京都芸術大学 教授)

椎名 隆 (摂南大学 教授)

山村 慎哉 (金沢美術工芸大学 教授)

京都市・山本文二郎漆科学研究助成事業委員会事務局

地方独立行政法人 京都市産業技術研究所

〒600-8815

京都市下京区中堂寺栗田町91番地

(京都リサーチパーク9号館南棟)

電話 075-326-6100 (代表)

FAX 075-326-6200 (代表)